

テレワークを始めよう！ 導入に必要な 準備やメリットは？



新型コロナウイルスが私たちの生活にもたらした変化の一つに、「働き方」があります。弊社「AKIA TAX CONSULTANTS」は会計事務所ですが、緊急事態宣言を受け、いち早く在宅勤務を導入しました。そこで今回は、在宅勤務において準備したものやメリットについてお話しします。

導入にあたり、ノートパソコンとサブモニターを用意しました（社員によりプリンターも含む）。ノートパソコンは社内で使用しているものを持ち帰る形ですが、紛失や盗難、破損には注意が必要です。また、モニターは住環境に左右されるので、それに応じたリクエストがありました。インフラ面では、外部から社内サーバーへアクセスするための専用ネットワーク“VPN”が必要ですが、基本的にこれで在宅勤務は可能となります。

社内の労務管理は「MyKomon」（マイコモン）という業務管理システムを導入。社員は業務内容と時間を入力し、上司はその内容をチェックし承認します。追加機能として、業務ごとに時間集計が可能なので原価管理にも使用できます。

電話対応は、オペレーターサービスに外注しました。オペレーターが電話を受け、内容はグループメールで社員全員に送信、担当者が折り返し連絡をするという流れです。営業電話の対応が不要な上、業務に集中できる点が効率化につながっています。ちなみに費用は従量課金制ですが、わが社における月間コストは 1 万 5000 円ほどです。

意外と難しいのが、通勤費の問題です。毎日出勤、不定期で在宅、ほぼ在宅の人がいる中、公平な通勤手当の支給が求められます。弊社では、週 3 日以上の上出勤は定期券代を支給、それ以外は出勤日

ベースで経費精算としています。個人的に、常勤以外のスタッフは出勤日ベースの精算が良いと感じています。

Wi-Fi 設備については、容量不足で VPN やオンライン会議ツールの接続が不安定になることも！セキュリティ面も重要なので、VPN は会社で新しいものを用意し対応しています。オンライン会議システムが不安定な場合は、ビデオ機能を停止することで緩和されるでしょう。オンライン会議は、Zoom（月 2000 円 / 有料版）を使用しています。移動時間が不要な上、資料を画面共有で表示できて便利です。同じ場所で複数のパソコンを使う場合はハウリングしてしまうので、会議用マイクを使うなどアイテムを工夫するのがポイントです。

社内コミュニケーションについては、社内用のスカイプ ID をつくり、勤務中はスカイプを常時接続しています。いくつかのグループをつくり、通常はチャットで情報共有や質問などのコミュニケーションをとります。1 対 1 の通話も気軽にできるので、スカイプは有効です。

在宅勤務を導入して 6 ヶ月、多少の課題はありますが、社員からの評判は上々です。今後も「在宅勤務」をキーワードとして業務の効率化、会社の収益力のアップへつなげていきたいです。（税理士 赤崎 章吉）